

いざという時は瞬時に担架に。救護を待つ間の静養ベッドに。

エアバッグ式担架はCO2(炭酸ガス)で瞬時に膨張!

ボード装着によりエアバッグ底面をプロテクトし生地の擦れを防止!
ボードを地面に付けてスライディングさせながらの一人搬送も可能!

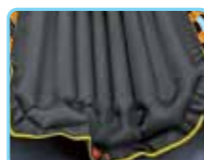
エアバッグを作動して約3秒で膨張します。



人が乗っても底付きしない強固な膨らみ



約60mm以上の厚み



7本の円筒エアバッグ

エアバッグでフレキシブルに対応

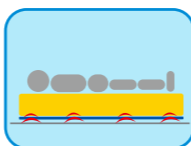
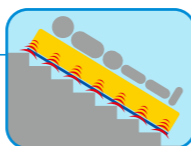
- ・フレームレスなので、階段やエレベーターなど狭い場所でも小回りがきき、取り回しが容易です。
- ・本体に損傷が無い場合はCO2(炭酸ガス)ポンペを交換すれば簡単に何度でも再生・使用可能です。
- ・エアポンプを利用して手動で膨らます事も可能です。
- ・エアバッグを作動させない状態でも通常の担架として使用できます。
- ・丸ごと水洗いでき、再使用できます。

エアバッグ方式によるメリット

階段でのスライディング搬送が可能。

ボードで滑らせ、エアバッグの空気の層が衝撃を吸収します!

階段をスライディング搬送させてもボードでプロテクトし、エアバッグの空気の層がクッションになり衝撃を吸収し、搬送人への衝撃が緩和されます。



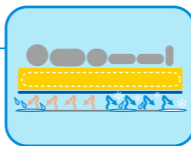
丸めてコンパクトに収納。

普段は収納バックに入れ、コンパクトに保管。収納時は幅86x高22cmの専用収納バックに収まり、ロッカーやベッド下など縦横に収納可能です、便利な持ち手付。



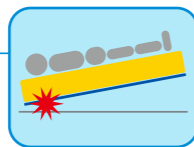
地熱をシャットアウト。

空気層とボードにより、夏のアスファルトの高熱、雨水、雪上の冷気など、着地面の悪状況から傷病者を守ります



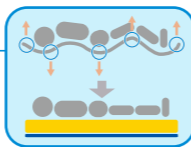
搬送人への衝撃減少。

エアバッグ方式の為、担架で搬送中に壁や柱などの障害物に接触しても、エアバッグがクッションになり搬送人への衝撃が緩和されます。また、着地時の振動・衝撃から傷病者を守る事が出来ます。



首や腰への負担を軽減します。

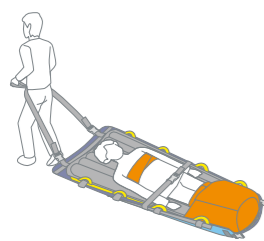
強固な7本のエアバッグの膨らみにより、首や腰などにかかる負担を軽減します。



使用イメージと搬送シュミレーション

使用イメージ 搬送人の人数や現場の状況に応じて様々な搬送が可能です

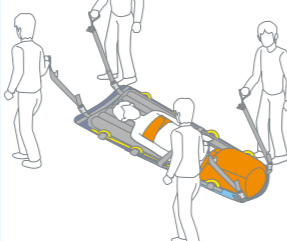
一人搬送例 (平地でのスライディング搬送)



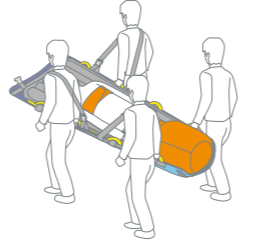
3人搬送例



4人搬送例



4人搬送例 (ショルダー&持ち手搬送)



階段搬送例



搬送シュミレーション



スライディング搬送



4人搬送



階段搬送



階段搬送



階段搬送

エクストレッチャーS構造

非膨張時

エアバッグ起動装置

胸部固定ベルト

持ち手
一カ所につき、80kgの引っ張りに耐えます

ショルダーベルト
ショルダーパッド

ワンタッチバックル
強度160kg
(不要時は取外し可能)

サイズ:
ボード全長190cm 幅80cm
エアバッグ担架 全長178cm 幅30cm(非膨張時)
重量:約5.5kg

収納バックに丸めてバックに収納!
サイズ:W86・H22・D22cm

グリップ付ベルト
(不要時は取外し可能)
収納用ベルト

ワンタッチバックル/強度160kg

膨張時

スライディングボード
(エアバッグへのプロテクション、強度アップ)
マルチレイヤーボード
ソフトタイプ1.5mm厚

空気抜きバルブ

エア補充ポンプ(オプション)

約3秒で膨張

・CO2ポンペを使用せず、エア補充ポンペで完全膨張させる事も可能です。
・長時間使用し、エアバッグの膨らみが弱くなった場合に、エア補充ポンペで補給して下さい。

エアバッグ担架とボードは取外し可能。ベルクロタブで固定しています

胸部固定ベルト(ベルクロ仕様)

滑り落ち防止フットカバー&固定ベルト

作動方法

エアバッグ式担架をバックから取り出してひろげます。
⚠️丸まった状態で作動させないで下さい。

ポンペを写真(作動)のように立てた状態で起動装置のひもを引けば、エアバッグが作動します。

約3秒膨張

約3秒で完全膨張し、使用可能な状態です。

再生方法

本体に損傷が無い場合、CO2(炭酸ガス)ポンペを交換すれば何度でも再生・使用可能です。

空気を抜く

① 空気抜きバルブをキャップ突起部で押込む

② 丸める様に空気を抜く

③ 空気抜きバルブにキャップをする

⚠️完全に空気を抜かない状態で作動させた場合、破損する恐れがあります。

再生手順

⚠️一度使用したポンペは再使用出来ません。新しいポンペに交換する場合は、最後までしっかり回し入れて下さい。

① 起動装置をおさえ、ポンペを回し抜く

② レバーを上げる

③ 新しいポンペを最後まで押し挿入

④ 再生完了。すぐに使用できます。

① 使用後、空気抜きバルブをキャップ突起部で押込み、全体を丸めるように完全に空気を抜きます。
⚠️空気を抜いた後、必ず空気抜きバルブにキャップをして下さい。

② 写真手順で使用後のポンペを回し抜き取り、レバーを上げて新しいポンペを挿入します。